



学校だより

逢う地

お・・思いやりのある学校
う・・美しさに満ちた学校
ち・・力を伸ばす学校

希望と目標を持ち、自立の基礎を身につけた生徒の育成

H31. 4. 19. 第3号 相知中学校 校長室

相知中生徒会歌

17日(水)生徒朝会がありました。毎月この中で、生徒会歌を歌い、相知中人権宣言を行ないます。例年この時期に作曲者の福谷さんのメッセージを紹介しています。50年以上歌い継いできた本校生徒会の伝統を感じます。

我等 相知中 生徒会	理想を 目指して 進みゆく	かたく 結んだ 友情で	勇気に みちて 誇らしく	我等 相知中 生徒会	力を あわせて 進みゆく	明日に 向かって はばたいて	善意に みちて 清らかに	我等 相知中 生徒会	ともに 手を 取り進みゆく	希望に 胸を ふくらませ	若さに みちて たくましく
------------------	---------------------	-------------------	--------------------	------------------	--------------------	----------------------	--------------------	------------------	---------------------	--------------------	---------------------



生徒会歌

相知中学校生徒会歌に寄せて 昭和43年度卒業生 福谷浩孝

～前略～ この生徒会歌は、当時の生徒会の企画でできた作品である。当時の相知中の部活動は(今もそうだと思うが)、運動部も文化部も県内でも相当のレベルにあった。みなが相知中という誇りを持って切磋琢磨していた。生徒会活動も部活動に負けまいと盛んだった。体育大会の運営や母校訪問駅伝(五つの小学校を巡るクラス対抗の駅伝大会)の企画運営も生徒会が行っていたと思う。この生徒会歌の募集企画もその一つであった。

最初に作詞の募集があり、全部で三十数名の作品が応募されていたと記憶している。この中から、一年先輩の前田さんの歌詞が選ばれた。次に曲の募集があり、二十人前後の応募があった。私もその中の一人であった。

私は、ブラスバンド部員でもなければギター少年でもなかった。ただラジオから流れてくるビートルズやローリングストーンズの音楽を聴いている、音楽には縁のない普通の少年であった。それでも何とか選ばれたいと強く願ったことを覚えている。

そこから思いつくメロディを夜遅くまで五線譜におこし、できた曲をリコーダーで確かめながら何度も何度も書き直した。こうしてできた曲がああ生徒会歌である。確か十四歳の時のことだと記憶している。今聴けば単純な音符の配列でとても恥ずかしいが、採用された時の喜びや嬉しさは今でも鮮やかに甦ってくる。一つのこと打ち込めた私は、とても幸せ者であった。相知中学校の歴史に関わることが、実に喜ばしかった。

生徒手帳の生徒会歌のページには、作詞作曲の二人の名前が記されている。当たり前である。

しかし、採用された作品以外にも、多くの埋もれた歌詞や作曲された作品があることを忘れないでほしい。それら作品群の代表が、今、歌われている生徒会歌であると思う。多くの先輩方が、郷土を、母校を、そしてあなた方を温かく見守っていらっしゃるのだということ忘れないでほしい。

相知中学校卒業というだけで、たったそれだけで誇らしかった。それだけ歴史ある名校である。後輩たちも、相知中学校という素晴らしい学校の一員であるという誇りをもって中学校生活を送ってほしい。最後に、どんな小さなことでもいい。何か一生懸命になれるもの(目標と言い換えてもいい。)をみつけてその達成のためにあきらめずに努力を続けてほしいというのが、後輩達へのメッセージである。

※学校便りや各種通信にお子様の写真や名前の掲載を希望されない方は校長までご連絡下さい。